

自己評価票

| 項目                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|---|---------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>                     |   |   |                                 |
| <b>1. 理念と共有</b>                        |   |   |                                 |
| 1                                      | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>       | <p>運営理念として「人・義・礼・知・信」を掲げ、企業理念とともに確認できるようになっている</p>                                      |                                 |
| 2                                      | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>                          | <p>スタッフルームに理念を掲示し毎朝の申し送りで音読することによって共有・実践に努めている</p>                                      |                                 |
| 3                                      | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p> | <p>出入口に運営理念を掲示し面会に来られる家族や地域の方々にも知ってもらえるように運営推進会議時に取り上げている</p>                           |                                 |
| <b>2. 地域との支えあい</b>                     |   |   |                                 |
| 4                                      | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>  | <p>施設の行事に地域への参加の声掛けを行っている。また散歩時には挨拶をしている</p>  | ○                               |
| 5                                      | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>    | <p>地域の老人会の一員として交流する為に一緒にカラオケ大会をおこなったり施設の大きな行事に参加してもらったり、幼稚園児との交流で園児の訪問や園での行事に参加している</p> |                                 |
| <p>近所のお店と顔馴染みになっているので、この関係を続けていきたい</p> |   |   |                                 |

| 項目                           | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)                             | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|--|---------------------------------|
| 6                            | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる                | 介護技術やポイントを在宅で生活されている方に参考になるように介護教室を開催した            | ○ 継続的に開催していきたい                  |
| <b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b> |   |  |                                 |
| 7                            | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                         | 管理者より外部・自己評価の意義を会議の時に伝え、実際に記入する事により職員が内容を理解している    |                                 |
| 8                            | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている         | 会議時にフロアでの活動を報告し、家族・地域の方の意見を反映させサービス向上に努めている        |                                 |
| 9                            | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                          | 運営推進会議以外での交流を意識しながらも現状は難しい                         | ○ 問題発生時などに相談できるようにしていきたい        |
| 10                           | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 出入口カウンターにパンフレットを掲示することによって必要な人には説明を行ない活用支援を行っている   | ○ 全職員も説明出来る様に勉強会を行っていきたい        |
| 11                           | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている           | スタッフルームに虐待に対しての資料を掲示し、新人研修時も説明を行ない全職員が理解するようになっている |                                 |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |  |
|------------------------|---|---|----------------------------------|--|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |   |   |                                  |  |
| 12                     | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている            | 入退居時利用者家族に説明し理解を得ている  | ○                                | 管理者以外の職員も理解しいつでも説明できるようになってきている                |
| 13                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 出入口カウンターに意見箱を設置して利用者からの意見を得られる様にしている。職員が利用者との良好な信頼関係を築き利用者が気兼ねなく不満や苦情・要望も言える環境を作っている。言葉で伝える事の出来ない利用者からは表情や行動から不満や意見を吸い取れるよう心掛けている | ○                                | ケアしていく上で得られた利用者の意見・不満は職員間で共有し話し合い対応できる様に心掛けている |
| 14                     | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている         | 面会時には近況報告し状態変化があった時は電話で報告している。月1回ホーム便りを発行し郵送している。預かり金は出納帳で管理し面会時確認印を頂いている   |                                  |  |
| 15                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている           | 出入口カウンターに意見箱を設置し家族の意見を得られる様にしている。家族面会時は話しやすい雰囲気を中心家族との信頼関係が得られる様に努力している   | ○                                | 面会時の家族との会話を大切にしその中から得られた意見を職員間で共有していきたい        |
| 16                     | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                       | フロア会議や普段の業務の中でも管理者は職員の意見を聞く機会を設け管理者会議などで運営者に報告している  |                                  |  |
| 17                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 必要時間帯の職員確保の為各スタッフ間との話し合いや必要時でも対応できるよう連携している   |                                  |  |

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|---------------------------------|
| 18                 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>複合施設であるがグループホーム以外の事業所への移動はしないことを方針としている。行事の際など入居者が別フロアに遊びに行ったりホーム全体で入居者と職員の関係を作れる様な取り組みをしている</p> |                                 |
| <b>5. 人材の育成と支援</b> |   |   |                                 |
| 19                 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>              | <p>外部研修には可能な限り参加できるように配慮し内部研修も各フロア持ち回りで必要に応じた研修を年間をとうし計画し実施している</p>                                 |                                 |
| 20                 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>    | <p>管理者が他施設と交流を持っているが他職員は交流の機会がない</p>  | <p>○ 職員同士の交流の機会をつくっていきたい</p>    |
| 21                 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>                                       | <p>福利厚生にて交流を図り可能な限り職員の相談に乗るようにしている</p>  |                                 |
| 22                 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>                           | <p>人事考課表(年2回)により評価を行い必要であれば面談等の対応をしている</p>  |                                 |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>      |  |  |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |  |  |                                  |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 常に傾聴・共感する姿勢を大切にし本人が今望んでいることに対し入居前に面談し話しを聞くようにしている                |                                  |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br><br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                       | 入居にあたって家族が何に困っているか何を望んでいるのかを面談して話を聞いている。必要において施設を訪問して頂き見学して頂いている |                                  |
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br><br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 相談を受けた時本人・家族が今何を必要としているか何をしたいかを話し合いサービスに反映させている                  |                                  |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前に使われていた家具などを持参して頂き馴染みやすい環境作りを行っている                            |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |  |                                  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 食事の片付け・洗濯たたみ等出来る事を一緒に行なってもらい家庭的な雰囲気それぞれの居心地のよい居場所を心掛けている         |                                  |

|    | 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|------------------------|----------------------------------|
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係<br><br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている         | 身体的な介護度も高い方もおり全ての方と言うことは難しいが出来る事を無理のないように配慮しながら家事などを一緒に行っている |                        |                                  |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br><br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している             | 面会時健康状態などの近況報告し、その中で関係の理解をするようにしている                          |                        |                                  |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br><br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている               | 知人の面会時に利用者の家のように落ち着いて過ごせる様に支援している                            |                        |                                  |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援<br><br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている              | 耳が遠い利用者には必要に応じ会話を仲介している。居室で過ごす事が多い利用者には定期的に声掛けを行っている         |                        |                                  |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み<br><br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 入院等により退居になった方に対し退院後の希望を可能なかぎり支援を行っている                        |                        |                                  |

| 項 目                                   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目)   | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------|
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>    |   |  |                                 |
| <b>1. 一人ひとりの把握</b>                    |   |  |                                 |
| 33                                    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 日常の会話、家族からの情報や意向など取り入れて本人がしたい事、生きがいになるようなことを毎日の生活に取り入れられるように努めている  |                                 |
| 34                                    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 調査時本人・家族に話を聞いている。入居後も会話の中から情報を得るようにしている  |                                 |
| 35                                    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 日課は決めておらずその日の体調を考慮しながら出来る方にはお手伝いをしている。職員はその日様子を見ながら細かい状態把握に努めている   |                                 |
| <b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b> |   |  |                                 |
| 36                                    | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 本人・家族の希望や意向を反映した介護計画の作成に努め面会時必要に応じて医師・看護師の指示助言を取り入れ会議に本人・家族に参加してもらうケースがある。個人記録、申し送りノートを活用し職員間の情報共有に努め会議での職員の意見を踏まえながら介護計画を作成している | ○<br>介護計画をもとに介護実施表を作り毎日記録している   |
| 37                                    | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 家族へのモニタリングを6ヶ月に1回実施し毎月職員でもモニタリングを行うことで見直しを行っている。状態に変化があった時は家族・主治医等で話し合いサービスの見直しを行っている  |                                 |

| 項目                                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|--------------------|---------------------------------|
| 38                                 | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>    |                    |                                 |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |   |                    |                                 |
| 39                                 | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>              |                    |                                 |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |   |                    |                                 |
| 40                                 | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>             |                    |                                 |
| 41                                 | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>  |                    |                                 |
| 42                                 | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | ○                  | 運営推進会議の出席を検討していく                |



|    | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|------------------------|----------------------------------|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>   | <p>月2回の主治医往診により継続して医療を受ける事が出来る。また主治医以外の医療機関の支援も行っている</p>   |                        |                                  |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>  | <p>主治医を通して認知症の専門医を確保して定期的な受診の支援を行っている</p>  |                        |                                  |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>   | <p>看護師により毎日の状態観察や日々の生活においての変化を早期発見し対応している。必要があれば看護師より主治医に連絡をとっている</p>                                      |                        |                                  |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>                      | <p>入院時施設からの情報提供により本人を知ってもらったり、入院の様子を伺っている。主治医が直接入院先の担当医と連絡をとり連携が図られている</p>                                 |                        |                                  |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>                                   | <p>重度化や終末期の緊急時対応についての意向を書面にて頂き状態が変化する度に意向を伺っている。終末期を希望する方については主治医・看護師等と話し合いを行っている。話し合いの情報共有を会議録にて行っている</p> |                        |                                  |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>状態変化に合わせてターミナルケアに向けて支援の方向性を家族を交え話し合いを持っている。また施設内研修においてターミナルケアについて実際に関わる支援について学んでいる</p>                  |                        |                                  |

| 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                      | ○印<br>(取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|--------------------|---------------------------------|
| 49<br>○住み替え時の協働によるダメージの防止<br><br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 情報提供を行う事によって環境が変わっても安心して生活できるようにしている                                 |                    |                                 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |  |                    |                                 |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>   |  |                    |                                 |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>   |  |                    |                                 |
| 50<br>○プライバシーの確保の徹底<br><br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                                       | 言葉掛けや対応の仕方は日頃から職員間で注意している。新職員が入った時にはその都度勉強会をおこなっている                  |                    |                                 |
| 51<br>○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている                   | 利用者一人一人に分かり易い言葉掛けを心掛け、相手の目を見てゆっくり・はっきりとした言葉で話す事で安心感と笑顔が引き出せる様に支援している |                    |                                 |
| 52<br>○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                         | 食事などある程度の時間は決まっているがその時の状況のよって対応している。入浴も希望があれば毎日入浴している                |                    |                                 |
| <b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>  |  |                    |                                 |
| 53<br>○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                                    | 外出時に洋服を一緒に選んだり出張理美容にて本人に希望する対応をしている。化粧品などの購入希望があれば一緒に買物に出かけている       |                    |                                 |

| 項目                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)  | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)   |
|-------------------------------------|---|---|-----------------------------------|
| 54                                  | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 季節に応じたメニューや好みのメニューを取り入れている。時には出前を取ったり外食したりして対応している。また利用者の状態に応じて準備や片付けをして頂いている                 |                                   |
| 55                                  | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している           | 好みを把握し食事メニューに取り入れている。食事・おやつが楽しみな物になるようにしている   |                                   |
| 56                                  | ○気持ちよい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している       | 排泄チェック表をもとに利用者の状態にあった支援を行っている。自立の方で失禁があった場合自尊心を傷つけないような言葉掛けや失禁パンツを取り入れたりしている                  |                                   |
| 57                                  | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴の言葉掛けを毎日行ない仲の良い者同士で入浴することもある  | ○ 夜間入浴を検討しているが業務都合などでなかなか実施出来ていない |
| 58                                  | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                    | 生活習慣や睡眠の状態、体調を把握し状況に応じた対応の支援を行っている  |                                   |
| <b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |   |   |                                   |
| 59                                  | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 家事のお手伝いをお願いしている。お手伝いに際しての感謝の言葉掛けを行っている。ラジオ体操や好みの歌を聞いたり、歌ったり、公園散歩などを職員も一緒に行い笑顔や言葉数が増えるように努めている |                                   |


|                       | 項 目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------------------------|---------------------------------|
| 60                    | ○お金の所持や使うことの支援<br><br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している         | 管理できる方は買物時の支払いを行い、管理が必要な方に関しては出納帳で管理している。面会時残金の確認をして頂き年度末のコピーした物をお返ししている |                        |                                 |
| 61                    | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                           | 本人希望により散歩・外出・買物に行くなどの支援をしている。通院後に外食してくる事もある                              |                        |                                 |
| 62                    | ○普段行けない場所への外出支援<br><br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している        | 例年行っていた合同外出もレベル低下により実施できていない   | ○                      | 個人レベルに合わせた外出支援を行っていきたい          |
| 63                    | ○電話や手紙の支援<br><br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                  | 本人希望時職員対応にて支援している  |                        |                                 |
| 64                    | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br><br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 訪問時居室やフロアで心地良く会話ができる様にお茶などをだして家庭的な雰囲気作りをしている                             |                        |                                 |
| <b>(4)安心と安全を支える支援</b> |   |  |                        |                                 |
| 65                    | ○身体拘束をしないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 毎月会議で話し合い身体拘束についての理解を深めている   |                        |                                 |

|    | 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                              |
|----|--|---|------------------------|---|
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる     | 建物の構造上暗証番号での出入りとなっており職員は鍵をかける事の弊害を理解している。空気の入替えや出入りの希望があった時はその都度対応し、状況に応じ手動での開閉も行っている |                        |   |
| 67 | ○利用者の安全確認<br><br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している              | 時間毎人数の確認を毎日行なっている。居室で過ごしている方に対して職員が訪問し様子観察を行っている                                      |                        |   |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理<br><br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている        | 危険物にたいしては目や手の届かない所で保管・管理している  |                        |   |
| 69 | ○事故防止のための取り組み<br><br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる     | 外部・社内研修でリスクマネジメントについて学び意識を高めている。報告書をスタッフ全員で目を通し事故防止に努めている                             |                        |   |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え<br><br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている               | 定期的な勉強会を行いマニュアルをスタッフルームに掲示し対応できるようにしている   |                        |   |
| 71 | ○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 定期的に避難訓練を行ない消火器の位置を確認している。運営推進会議で地域の方の協力をお願いしている                                      | ○                      | 年2回行っている避難訓練に地域の方にも参加して頂けるように自治会の協力を得て回覧で回してもらい一緒に訓練を行なう予定である |

|                                  | 項 目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                         | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|------------------------|----------------------------------|
| 72                               | ○リスク対応に関する家族等との話し合い<br><br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 家族に状況を説明し理解を得た上でその人にあった対応を支援している                        |                        |                                  |
| <b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b> |  |   |                        |                                  |
| 73                               | ○体調変化の早期発見と対応<br><br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている           | 1日2回のバイタル測定を行い体調の変化や異変に気付く様状態把握に努めている。急変時は看護師に報告し対応している |                        |                                  |
| 74                               | ○服薬支援<br><br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている       | 薬説明書の綴りにて全スタッフが理解出来る様になっている。薬係りによる管理を行い服薬時は2人の職員で確認している |                        |                                  |
| 75                               | ○便秘の予防と対応<br><br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる         | 排泄チェック表にて排便の状態を把握し状況に合わせて水分摂取や体を動かすなどで対応している            |                        |                                  |
| 76                               | ○口腔内の清潔保持<br><br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 食後口腔ケアの声掛け・見守りを行い介助の方についてはお手伝いしている。必要に応じ歯科往診を行っている      |                        |                                  |
| 77                               | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている      | 食事・水分量を日誌にて毎日チェックしている。状態に応じた食事の提供を行っている                 |                        |                                  |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ○印<br>(取組んでいき<br>たい項目) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                               |
|--------------------------------|---|--|------------------------|--|
| 78                             | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)  | 外出後の手洗い・うがい徹底や1介助毎の手洗いを<br>行っている   | ○                      | 玄関及びフロアー入口に消毒液やマスクを設置し感染<br>症予防に努めている                          |
| 79                             | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場として<br>の台所、調理用具等の衛生管理を行い、新<br>鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 調理器具の消毒を曜日を決めて行っている。時間<br>の経過した食事は提供しないようにしている                                       | ○                      | 衛生チェックカレンダーを用い意識付けの徹底を図っ<br>ている                                |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |                        |  |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |                        |  |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親し<br>みやすく、安心して出入りができるよう<br>に、玄関や建物周囲の工夫をしている                                      | 複合施設で玄関が大きい為家庭的とは言えない  | ○                      | 玄関付近は日陰となり涼しいので散歩などで前を<br>通った方や学校帰りの生徒の避難場所としての提<br>供などをしていきたい |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、<br>食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとっ<br>て不快な音や光がないように配慮し、生活<br>感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご<br>せるような工夫をしている | トイレにはレースのカーテンを設置しプライバシー<br>と安全の両方の確保に努めている。フロアーには<br>花を飾ったり季節に応じた手作りの装飾など飾り<br>つけている |                        |  |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づ<br>くり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気<br>の合った利用者同士で思い思いに過ごせる<br>ような居場所の工夫をしている                                  | テレビの周りにソファを配置しテレビを見ながら会<br>話したりコミュニケーションが取れる様になっ<br>ている。その時の状況によりテーブル・ソファを<br>移動している |                        |  |

| 項目                            | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ○印<br>(取組んでいきたい項目)                        | 取組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|---------------------------------|
| 83                            | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>家族や本人の写真・寄せ書きなどを飾ったり趣味道具や仏壇をおいている</p>  |                                 |
| 84                            | <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>       | <p>換気をこまめに行い温度を一括管理している</p>               |                                 |
| <b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |   |                                 |
| 85                            | <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                | <p>共同部分の手すり設置や居室の家具の配置や福祉用具使用にて対応している</p> |                                 |
| 86                            | <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>                          | <p>表札があり写真を貼ったりし混乱を防いでいる</p>              |                                 |
| 87                            | <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>                                  | <p>建物に隣接して公園があり気分転換の場所となっている</p>          |                                 |

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



| V. サービスの成果に関する項目 |  | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|------------------|--|---|
| 項 目              |  |   |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○ ①ほぼ全ての利用者の<br>②利用者の2/3くらいの<br>③利用者の1/3くらいの<br>④ほとんど掴んでいない |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○ ①毎日ある<br>②数日に1回程度ある<br>③たまにある<br>④ほとんどない                  |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている                    | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 94               | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている            | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と<br>②家族の2/3くらいと<br>③家族の1/3くらいと<br>④ほとんどできていない    |
| 96               | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                 | ○ ①ほぼ毎日のように<br>②数日に1回程度<br>③たまに<br>④ほとんどない                  |

| 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>(該当する箇所を○印で囲むこと)                           |
|-----|---|---|
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている<br>②少しずつ増えている<br>③あまり増えていない<br>④全くいない           |
| 98  | 職員は、生き活きと働いている  | ○ ①ほぼ全ての職員が<br>②職員の2/3くらいが<br>③職員の1/3くらいが<br>④ほとんどいない       |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○ ①ほぼ全ての利用者が<br>②利用者の2/3くらいが<br>③利用者の1/3くらいが<br>④ほとんどいない    |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○ ①ほぼ全ての家族等が<br>②家族等の2/3くらいが<br>③家族等の1/3くらいが<br>④ほとんどできていない |

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

運営母体の医療を活かした介護・医療との連携が図れており、定期的な往診の他に急変時は昼夜を問わず医療支援が得られる